

「専任院内トリアージナーズ育成に関する研究」へご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院救急外来では、「専任院内トリアージナーズ育成に関する研究」という臨床研究を行っております。この研究は専任院内トリアージナーズ育成コースの効果を検討する目的としています。そのため、2017年4月から7月、2018年1月から4月の間に東京歯科大学市川総合病院救急外来を受診された患者様のうち、救急車以外の手段で来院された患者様のカルテ情報を使用させていただきたいと考えております。この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査で審査され、病院長の許可を得て実施しております。

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

当院は2次救急医療を担う地域中核病院で、年間約10,000人の救急患者様が来院します。その約半数は救急車で来院されますが、救急車以外で来院される患者様も多くいらっしゃいます。そこで、患者様の緊急度や重症度に応じて治療の優先順位を決定する院内トリアージ（緊急度評価）を行っています。院内トリアージの精度を上げるために、専任院内トリアージナーズ育成コースを開催しました。その効果を検討します。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

専任院内トリアージナーズ育成コース修了者が実施した院内トリアージの結果を事後検証して、専任院内トリアージナーズ育成コースの効果を検討します。専任院内トリアージナーズ育成コースが有効であれば、更なる看護の質の向上ができます。

2. 研究方法

1) 対象者

下記の期間に東京歯科大学市川総合病院救急外来を受診された患者様のうち、救急車以外の方法で来院された患者様です。

- ①2017年4月から7月
- ②2018年1月から4月

2) 研究方法

下記の①～②を比較します。また、これらの一致率が専任院内トリアージナーズ育成コースの前後で変化したか否かを比較します。

- ①トリアージナーズが判定した緊急度評価
- ②カルテ情報から後述（「3）使用する情報」参照）の情報を参照して、緊急度判定システム(JTAS)で判定した緊急度評価
- ③外来転帰
入院されたか否か

3) 使用する情報

救急外来受診時の情報

(使用する情報)

性別、年齢、主訴、既往、経過、現在の内服薬、アレルギーの有無、妊娠の有無、身体所見、身長・体重、体温・血圧・脈拍・呼吸回数・経皮的酸素飽和度、外来転帰
尚、患者様の氏名や生年月日はすべて削除して匿名化します。

4) 試料・情報の取り扱い

匿名化した情報を電子ファイルにして、この研究専用の USB メモリーを利用してパスワードで制御保存します。この USB メモリーは、施錠可能な引き出しに保存します。また、研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間保存した後に物理的に破棄します。

5) 費用

この研究により、費用が生じることはございません。また謝礼等もございません。

6) 結果の公表

研究の結果については、学会や雑誌等に発表されることはありますが、個人が特定できるような情報が公開されることはなく、個人情報を守られます。

7) 研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の試料等を閲覧または入手することができます。

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数ですが、お申し出ください。ご了承いただけない場合でも、診療等の病院サービスにおいて患者さんへ不利益が生じることはございません。そのほか、ご質問等ありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ先>

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

救急外来 研究責任者 代々城 千代子

電話：047-322-0151